



# 台風13号の豪雨における湯本川調節池の整備効果

福島県いわき建設事務所

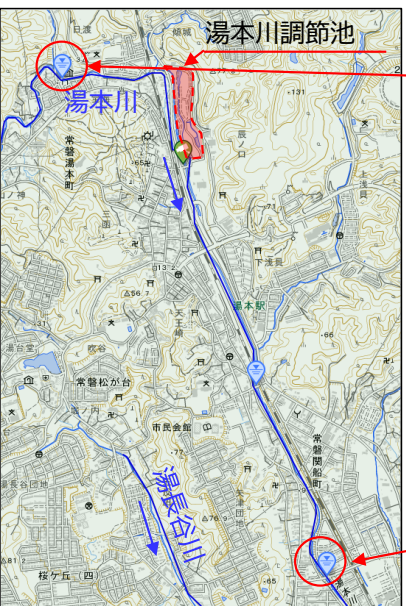
ゆもがわちょうせつち

## 概要

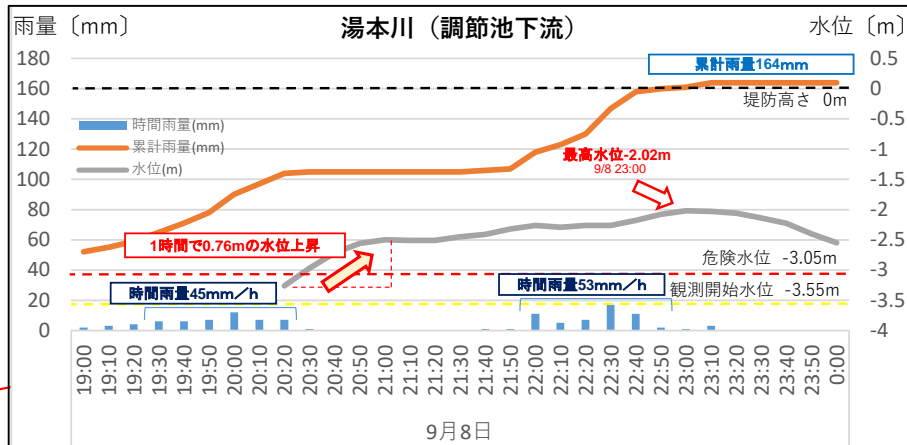
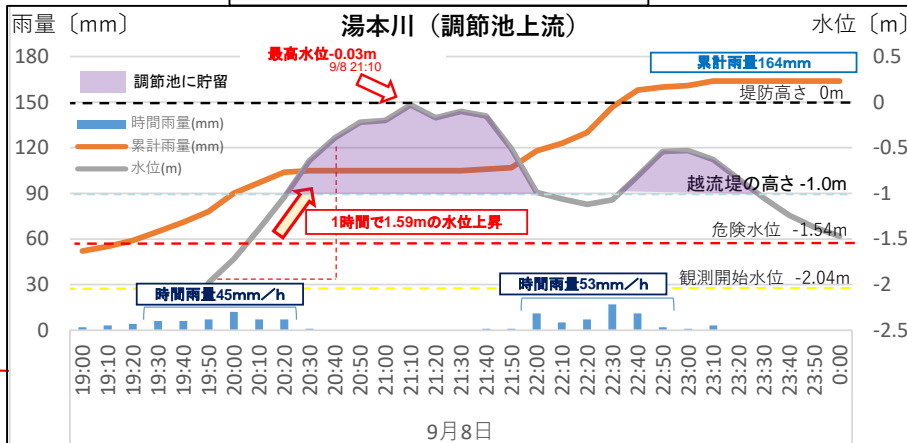
湯本川沿川は、炭鉱の町・温泉地である地域性から古くより市街化が進み、河岸まで住家が立ちならんでいました。そのため、洪水のたびに浸水被害が発生しており、特に平成5年や10年の集中豪雨では河川の氾濫による大規模な浸水被害となりました。これを受け、福島県では平成14年より湯本川調節池の整備を含む河川改修事業に着手し、平成20年に河川改修が完了しました。

## 位置図

福島県



## 調節池上下流の水位変化



## 調節池の貯留状況



## 今回の貯留量は約8万m3と推定



## 過去の主要洪水と今回豪雨での被害状況比較

発生年	原因	浸水面積	浸水戸数		雨量	
			全体	うち床上	24時間	1時間最大
H5.11.14	集中豪雨	11.96ha	585戸	397戸	250mm	65mm
H10.10.7	集中豪雨	7.00ha	81戸	26戸	153mm	32mm
R5.9.8	台風13号	※調節池下流は外水による浸水なし	40戸(0戸※)	10戸(0戸※)	164mm	53mm

令和5年9月8日の台風13号では、湯本川流域で164mm/日の降雨が記録されましたが、湯本川調節池の貯留効果により、調節池上流側の水位上昇に比べ、下流の水位上昇が低減されたことで、調節池下流での外水（河川の氾濫）による洪水被害は発生しませんでした。

注) 令和5年9月末時点